

# 国語

「国語A：主として知識」について、「読むこと」においては、全国平均をやや上回っています。一方、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、全国と同様で、「書くこと」においては、全国平均をやや下回り、「話すこと・聞くこと」においては、全国平均を下回る結果となりました。「国語B：主として活用」について、「話すこと・聞くこと」において、全国平均を上回っています。「書くこと」においては全国と同様、「読むこと」においては、全国平均を下回っている結果となりました。

**【国語Aでの6学年児童の正答率が高かった問題】**  
 ⇒ア 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと

**【国語Aでの6学年児童の正答率が低かった問題】**  
 ⇒イ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと

## 【国語Aの分析】

- 国語Aの平均正答率は74.0%で、北海道・全国の正答率と同様です。
- 「話すこと・聞くこと」領域の正答率は62.5%であり、全国、北海道と比べると下回っています。具体的には、「互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う」問題の正答率が低い状況です。
- 「読むこと」領域の正答率は72.0%であり、全国、北海道と比べるとやや上回っています。
- 「手紙の構成を理解し、後付けを書く」、「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く（参加たいしょう）」問題の正答率が低く、無回答も多い状況です。

**【国語Aでの6学年児童の正答率が低かった問題】**  
 ⇒ウ 手紙の構成を理解し、後付けを書くこと

## 【国語Aにかかわる今後の取組】

- 「話すこと聞くこと」においては、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話すためには、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができるようにすることが大切です。そのため、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話す指導を行っていきます。
- 「書くこと」においては、実生活においては、依頼状や案内状、礼状などの実用的な文章としての手紙を書くことが求められます。そのため実用的な文章としての手紙を書く指導の充実を図っていきます。
- 漢字を正しく書く学習では、字形に注意しながら繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えながら文や文章の中で正しく使うことができるように指導していきます。書く活動と関連付けるなどして、短文で繰り返し読んだり書いたりする機会を増やしていったり、定期的な小テストを実施したりすることで定着を図っていきます。

二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。「山村さんへの手紙」の **ア**・**イ**・**ウ** の中に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

4	ア	日付	イ	自分の名前	ウ	相手の名前
3	ア	相手の名前	イ	日付	ウ	自分の名前
2	ア	日付	イ	相手の名前	ウ	自分の名前
1	ア	自分の名前	イ	日付	ウ	相手の名前

**2**

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いて、次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいろいろ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないような汚れがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よこれを見るときには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをして、いたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ア

ウ

イ

## 【国語Bの分析】

- 平均正答率は57.0%で、北海道・全国と同様です。
- 設問1一の「動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」問題の正答率が87.5%と高く、全国と比べても上回っています。
- 設問3二の「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」問題の正答率が16.1%と低く、全国と比べても下回っている状況です。

## 【国語Bにかかわる今後の取組】

- 「読むこと」における物語文では、叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめるためには、一つの場面の叙述だけを対象とするにとどまらず、複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読むことが重要です。そのため物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる指導を行っていきます。
- 「書くこと」において、読み手に自分の伝えたいことが分かるようにするため、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関係づけたりして必要な内容を整理して書くことが重要です。そのため、目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く指導に取り組んでいきます。

【国語Bでの6学年児童の正答率が低かった問題】

⇒イ 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること

3

大岩さんの学級では、あまんきみこさんが書いた「きつねの写真」という題名の物語を読み、それが考えたことについて、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、「物語の一部」と「話し合いの様子の一部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ

「こんざ山に、松ぞうじいさんという木こりが旅のとび吉と二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。」

【物語の一部】①・②・③・④・⑤の内容は、あとの「話し合いの様子の一部」で取り上げられます。

【話し合いの様子の一部】

横山 あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。  
 原 (③を示しながら)「あたりの木がいっせいにざざっとゆれてよびました」というところで  
 A 感じがすると思ったんだけど。  
 大岩 そうだね。A ことといえば、松ぞうじいさんとび吉はきつねだったのかな。  
 田中 二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きつねだよ。  
 原 A どころか、そう思うのよ。  
 田中 (④を示しながら)「山野さんは、むかいあったふたりをばちりとうつしました」とあるでしょ。  
 横山 そうだね。それに、(⑤を示しながら)「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。  
 原 二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。  
 大岩 きつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。  
 田中 (②を示しながら)「ここで、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。  
 原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことではないのかな。  
 田中 そうそう。  
 横山 (①を示しながら)「人間にうちとられたり」「人間に」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。  
 田中 そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。  
 5 (話し合いが続く) 5

- 1 にぎやかな
  - 2 不思議な
  - 3 かわいそうな
  - 4 親切な
- 一 【話し合いの様子の一部】のAの中に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 二 【話し合いの様子の一部】の中の……部ア・イの発言は、この話し合いの中で、それぞれどのような意図がありますか。最も適切なものを、次の1から4までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 考えのもととなる文章中の表現を明らかにしようとしている。
  - 2 言葉の意味が理解できず、その意味を知ろうとしている。
  - 3 今まで出ていない考えを引き出すようとしている。
  - 4 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしている。

算 数

「算数A：主として知識」について、「数と計算」領域においては、全国平均を上回っています。一方、「量と測定」「図形」「数量関係」の領域においては、全国平均と同様の結果となりました。「算数B：主として活用」について、「数と計算」領域においては、全国平均をやや上回っています。「図形」、「数量関係」領域においては、全国平均と同様、「量と測定」においては、全国平均を下回っている結果となりました。

【算数Aでの6学年児童の正答率が高かった問題】・1

⇒ア 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解していること

1

1 mあたりの値段が60円のリボンは何mか買います。  
 そのときの代金の求め方を考えます。

- (1) リボンを2 m買ったときの代金はいくらですか。また、リボンを3 m買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

【算数Aでの6学年児童の正答率が低かった問題】

⇒ウ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができること

2 次の計算をしましょう。

(3)  $6 + 0.5 \times 2$

### 【算数Aの分析】

- 平均正答率は82.0%で、全国と比べて上回っています。
- 「数と計算」領域の正答率が85.5%であり、全国と比べると上回り、特に、設問1(1)「具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している」問題の正答率は、100%と高い。一方で、「加法と乗法の混合した整数と小数の計算」問題では、48.2%であり、全国と比べても下回っている状況です。
- 「量と測定」領域の正答率が67.9%であり、全国と比べると同様である。設問4「任意単位による測定について理解している」問題の正答率は、64.3%であり、全国と比べても下回っている状況です。
- 「図形」領域の正答率は、81.3%であり、全国と比べると同様です。

### 【算数Aにかかわる今後の取組】

- 「量と測定」領域においては、比較や測定の方法のよさを理解し、新たに学習する量の比較や測定に活用できるようにすることが大切です。そのため、異なる量の比較や測定においても、共通する比較や測定の方法が用いられることを実感的に理解できるように指導していきます。
- 「図形」領域に関しては、「図形の構成要素に着目する」問題の正答率が低いことから、図形の構成・分解の活動を通して、図形の性質について理解を深めることができるようにする指導していきます。

### 【算数Bでの6学年児童の正答率が低かった問題】

⇒イ 示された条割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できること

5

月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。月の大きさは実際には変わりませんが、月が地球に最も近づいたときに、最も大きく見え、地球から最もはなれたときに、最も小さく見えます。地球から見える満月を円とみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いのです。



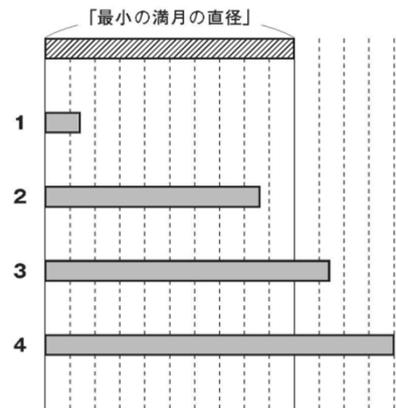
最も小さく見えるとき  
(イメージ)



最も大きく見えるとき  
(イメージ)

(1) 「最小の満月の直径」を▨、「最大の満月の直径」を■として、図に表します。

「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が14%長いことを表しているものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



### 【算数Bの分析】

- 平均正答率は46.0%で、全国と比べると同様になっています。
- 「数と計算」領域の正答率は55.4%であり、全国と比べるとやや上回っています。設問1(1)「示された条件を基に、適切な式を立てることができる」問題の正答率は、80.4%であり、全国と比べても上回っています。
- 「量と測定」領域の正答率が42.9%であり、全国と比べると下回っています。設問3(2)「仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる」問題の正答率は、16.1%であり、全国と比べて下回っています。

### 【算数Bにかかわる今後の取組】

- 「量と測定」領域においては、比較や測定の方法のよさを理解し、新たに学習する量の比較や測定に活用できるようにすることが必要です。そのため異なる量の比較や測定においても、共通する比較や測定の方法が用いられることを実感的に理解できるようにする指導を行っていきます。
- 「図形」領域においては、図形の性質を実感的に理解できるようにすることが大切です。そのため図形の構成・分解の活動を通して、図形の性質について理解を深めることができるようにしていきます。